

第10期 第1四半期報告書

(平成15年7月1日から平成15年9月30日まで)



平成15年10月22日

株式会社 旅籠屋

会社名(定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名(英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

四半期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	前年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30
営業収益						
売上高		61,739	38,001	39,670	43,092	70,824
営業費用						
売上原価		38,685	39,237	35,296	38,855	39,449
販売費及び一般管理費		9,765	8,816	9,577	9,525	9,016
営業損益		13,288	10,052	5,203	5,287	22,359
営業外収益		5	229	708	47	1,961
営業外費用		1,739	1,642	1,482	1,570	1,577
経常損益		11,554	11,465	5,977	6,809	22,743
特別利益		-	-	-	-	-
特別損失		-	-	-	-	379
税引前四半期(当期)純損益		11,554	11,465	5,977	6,809	22,363
法人税、住民税及び事業税		-	-	-	1,192	-
四半期(当期)純損益		11,554	11,465	5,977	8,001	22,363
前四半期繰越損益		137,875	126,321	137,787	143,764	151,766
四半期(当期)未処分損益		126,321	137,787	143,764	151,766	129,403

期中平均株式数	5,620 株				
1株当たり当期純損益	2,056 円	2,040 円	1,063 円	1,423 円	3,979 円
潜在株式調整後 1株当たり当期純損益(注1)	1,910 円	-	-	-	3,833 円

(注1) 潜在株式調整後の1株あたりの当期純損益は、最終損益が損失となる場合は記載を省略しております。

(2) 部門別売上高 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	前年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	前年 同期比
本社		479	354	411	2,483	461	3.8%
鬼怒川店		14,538	8,790	8,104	8,019	14,710	+1.2%
那須店		10,113	4,886	4,458	5,528	11,245	+11.2%
秋田六郷店		5,483	3,302	2,772	3,909	5,911	+7.8%
山中湖店		11,501	7,044	7,851	8,338	14,755	+28.3%
沼田店		7,854	6,810	7,389	6,262	8,753	+11.4%
水戸大洗店		8,618	4,761	6,140	5,081	9,427	+9.4%
北上店		3,150	2,051	2,541	3,469	5,558	+76.4%
合計		61,739	38,001	39,670	43,092	70,824	+14.7%

(3) 部門別経常損益 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度 第1四半期 H14.7.1～ H14.9.30	前年度 第2四半期 H14.10.1～ H14.12.31	前年度 第3四半期 H15.1.1～ H15.3.31	前年度 第4四半期 H15.4.1～ H15.6.30	今年度 第1四半期 H15.7.1～ H15.9.30	前年 同期比 (差額)
本社		9,960	8,936	9,023	7,656	7,251	+2,709
鬼怒川店		6,413	830	893	725	6,631	+218
那須店		4,996	448	311	46	5,525	+529
秋田六郷店		1,089	1,434	1,088	1,091	1,424	+335
山中湖店		5,668	566	2,037	1,163	7,882	+2,214
沼田店		2,177	1,226	1,829	731	3,233	+1,056
水戸大洗店		3,422	724	1,049	138	4,351	+929
北上店		2,251	2,545	1,987	868	946	+3,197
合計		11,554	11,465	5,977	6,809	22,743	+11,189

(4) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度 第1四半期末 H14.9.30	前年度 第2四半期末 H14.12.31	前年度 第3四半期末 H15.3.31	前年度 第4四半期末 H15.6.30	今年度 第1四半期末 H15.9.30
(資産の部)					
流動資産					
現金預金	16,325	10,726	6,796	11,185	30,787
その他流動資産	1,578	963	1,462	4,302	4,346
流動資産合計	17,903	11,689	8,258	15,487	35,134
固定資産					
有形固定資産合計	406,726	401,410	394,768	389,232	385,254
無形固定資産合計	2,804	2,644	2,483	2,323	2,163
投資その他の資産合計	13,689	13,590	13,481	15,514	15,405
固定資産合計	423,220	417,645	410,730	407,071	402,823
繰延資産	277	184	92	-	-
資産合計	441,401	429,520	419,081	422,559	437,957
(負債の部)					
流動負債	30,587	35,311	39,310	57,061	4,519
固定負債	236,934	231,795	223,330	217,064	262,641
負債合計	267,522	267,107	262,641	274,125	267,161
(資本の部)					
資本金	281,000	281,000	281,000	281,000	281,000
資本剰余金					
資本準備金	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
利益剰余金					
四半期(当期)未処分損益	126,321	137,787	143,764	151,766	129,403
資本合計	173,878	162,412	156,435	148,433	170,796
負債資本合計	441,401	429,520	419,081	422,559	437,957
発行済株式総数	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株	5,620株
1株当たり純資産	30,939円	28,899円	27,835円	26,411円	30,390円

(5) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き、正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5 経理の状況」をご参照ください。

事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

固定資産の減価償却の方法	各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
繰延資産の処理方法	各四半期末の繰延資産償却費は、年間償却見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間費用として処理しております。
税金の計上基準	法人税、住民税および事業税は、計上を省略しております。
消費税等の会計処理	仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表および損益計算書については、公認会計士の監査を受けておりません。

(6) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産
定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下の通りです。
- | | |
|--------|--------|
| 建物 | 17～18年 |
| 構築物 | 15～20年 |
| 車両運搬具 | 4～6年 |
| 工具器具備品 | 3～8年 |
- (2) 無形固定資産
定額法を採用しております。
なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。
- (3) 長期前払費用
定額法を採用しております。
なお、期間内均等償却によっております。
2. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
3. 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

第10期第1四半期（平成15年7月1日～平成15年9月30日）の業績の概況

(1) 本社

売上高はほぼ前年同期並（3.8%）でしたが、経費の節減と雑収入により、経常損失は前年度に比べ大幅に改善（9,960 7,251千円）しました。

(2) 鬼怒川店

稼働率（68.2 69.3%）、売上高（+1.2%）、経常利益（6,413 6,631千円）とも、前年同期をわずかながら上回りました。ビジネス客の増加にともなうリピーターの増加が見られます。

(3) 那須店

稼働率（73.5 81.1%）、売上高（+11.2%）、経常利益（4,996 5,525千円）とも前年同期を上回りました。ビジネス客は微増でしたが、リピーターやホームページによる認知が増えています。

(4) 秋田六郷店

稼働率（52.1 62.5%）、売上高（+7.8%）、経常利益（1,089 1,424千円）とも前年同期を上回りました。ビジネス客が増加しているため、客室単価は低下しています。

(5) 山中湖店

オープン（2001.7）3年目に入っても利用者が増えており、稼働率（81.3 91.4%）、売上高（+28.3%）、経常利益（5,668 7,882千円）とも大幅に前年同期を上回りました。ビジネス客は減少していますが、リピーターは増加し、客室単価もわずかながら上昇しています。

(6) 沼田店

「山中湖店」同様、利用者の増加傾向が続いており、稼働率（71.8 85.7%）、売上高（+11.4%）、経常利益（2,177 3,233千円）とも前年同期を上回りました。7店舗中、もっともリピーターが高く、50%を超えています。

(7) 水戸大洗店

利用者の増加傾向が続いており、稼働率（65.4 80.5%）、売上高（+9.4%）、経常利益（3,422 4,351千円）とも前年同期を上回りました。ビジネス客が倍増しているため、客室単価は大幅に低下しています。リピーターおよびホームページによる認知の増加が顕著です。

(8) 北上店

オープン（2002.7）2年目に入りましたが、稼働率（26.2 54.1%）、売上高（+76.4%）とも大幅に前年同期を上回り、経常損益（2,251 946千円）もプラスとなりました。リピーターも増えており、通期の赤字幅をできるだけ縮小したいところです。

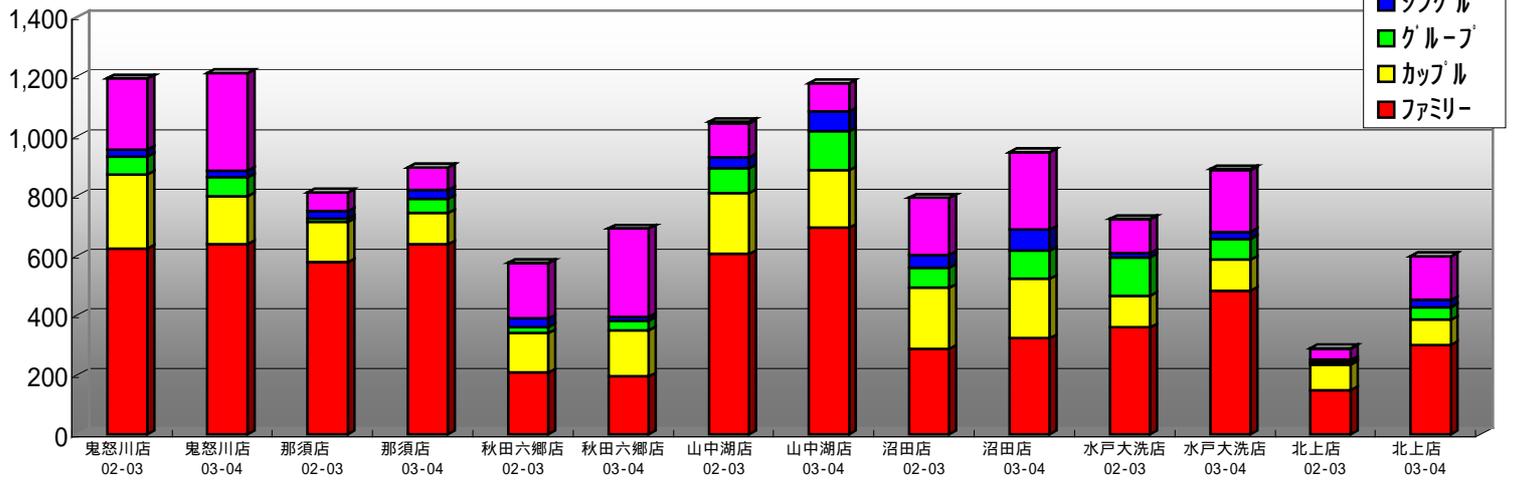
(9) 全社

8月は天候不順が続きましたが、全店舗で稼働率が前年同期を上回りました。伸び悩んでいた「鬼怒川店」「那須店」「秋田六郷店」も上昇に転じ、「山中湖店」「沼田店」「水戸大洗店」の増加傾向も続いています。オープン初年度で低迷していた「北上店」も大幅に利用者が増え始めています。

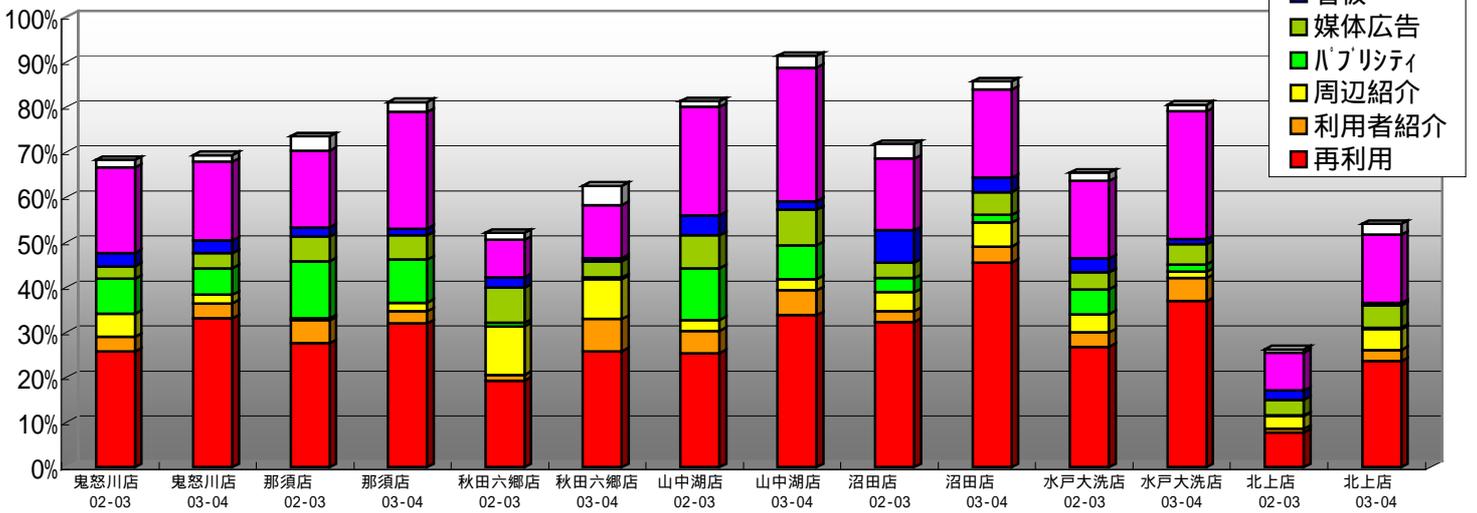
その結果、全社合計の稼働室数（5,430 6,405室、+18.0%）、売上高（+14.7%）とも順調に増加し、経常利益（11,554 22,743千円）もほぼ倍増となりました。

「山中湖店」を除いてビジネス客の増加による客室単価の低下が見られますが、経費の節減が進んでおり、経常利益は着実に増加する見通しです。例年、夏休み期間を含む第1四半期はプラス、第2四半期以降はマイナスとなっておりますが、今期はそのマイナス幅をできるだけ圧縮し、通期の黒字転換を実現したいと考えております。

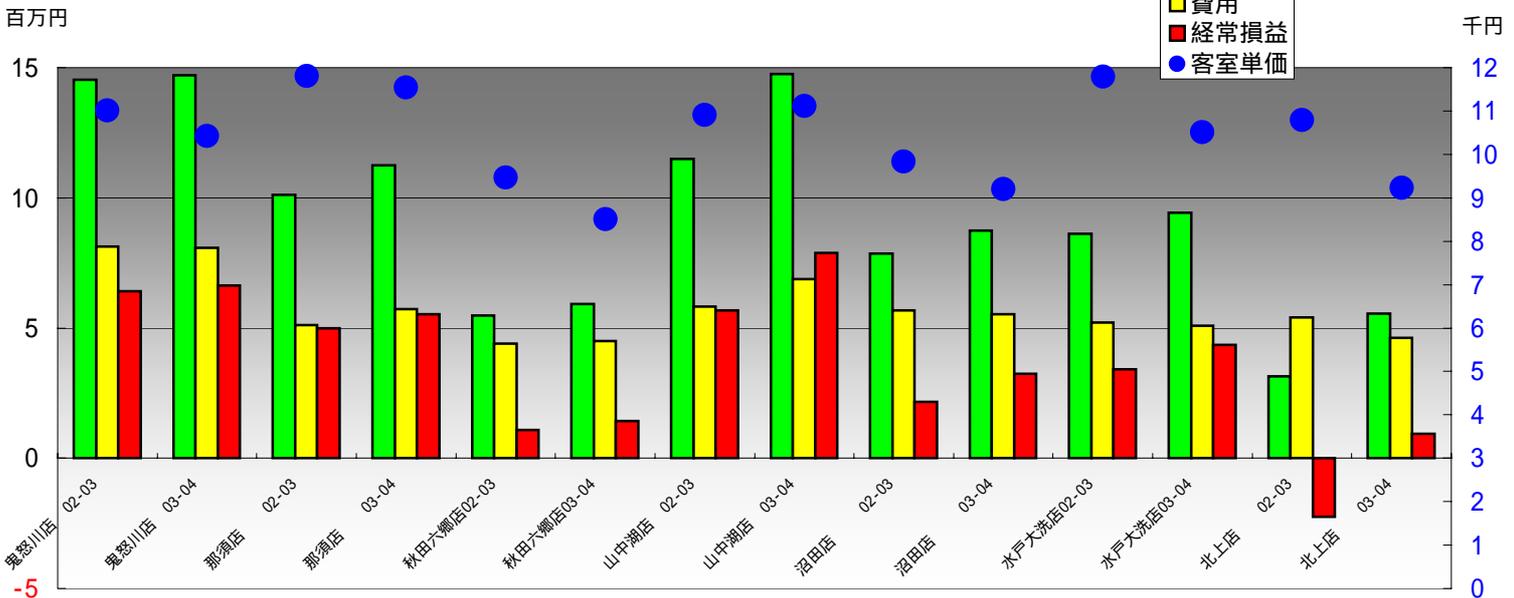
利用客室数(構成別) 実績比較 (7/1-9/30)



客室稼働率(経路別) 実績比較 (7/1-9/30)



収益・費用・経常損益・客室単価 実績比較 (7/1-9/30)



第10期の売上高および利益の予測について

(単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別 前年度実績 H14.7.1～ H15.6.30	来年度予想				通期予想 H15.7.1～ H16.6.30
		第1四半期 実績 H15.7.1-9.30	第2四半期 予想 H15.10.1-12.31	第3四半期 予想 H16.1.1-3.31	第4四半期 予想 H16.4.1-6.30	
売上高	182,504	70,824	42,176	42,000	46,000	201,000
経常損益	12,699	22,743	9,743	5,000	3,000	5,000

当四半期の実績は、売上高（66,000 70,824 千円）経常損益（15,000 22,743 千円）ともに、前期末の予想を上回りました。しかし、通期予想の金額はほぼ同額としております。その理由は、新規出店の遅れに伴い、第3、第4四半期の新規店舗の売上げ予想を下方修正したことと、計画達成に若干の余裕を見たことによります。いずれにせよ、既存店の稼働率アップと経費の節減に努め、今年度こそ念願の黒字転換を実現する心積もりですし、予期せぬマイナス要因が発生しない限り達成できる見通しです。

資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30
現金および預金の増減額		5,598	3,930	+ 4,388	+ 19,602
現金および預金の期首残高		16,325	10,726	6,796	11,185
現金および預金の四半期末残高		10,726	6,796	11,185	30,787

現金及び預金の増加は、長期借入金の増加と売上高の増加によるものです。

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30
短期借入金の増減額		-	+ 5,000	+ 10,000	15,000
短期借入金の期首残高		-	-	5,000	15,000
短期借入金の四半期末残高		-	5,000	15,000	-

期首の短期借入金は、全額返済しました。

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております。1年以内返済予定額を含みます。

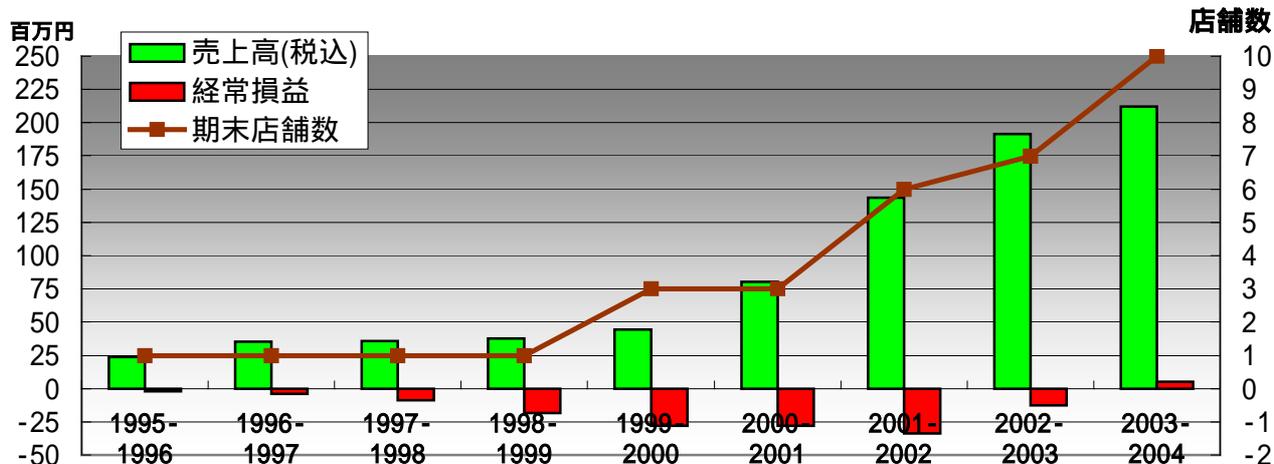
なお、1年以内返済予定額については、貸借対照表上では流動負債として表示しております。)

科目	期別	第9期 第2四半期 H14.10.1～12.31	第9期 第3四半期 H15.1.1～3.31	第9期 第4四半期 H15.4.1～6.30	第10期 第1四半期 H15.7.1～9.30
長期借入金の増減額		2,237	7,653	3,653	+ 13,570
長期借入金の期首残高		258,852	256,615	248,962	245,309
長期借入金の四半期末残高		256,615	248,962	245,309	258,879

長期借入金の増加は、三井住友銀行からの運転資金借入れ（23百万円、8/8実行）によるものです。

今後の事業展開と出店計画について

年度別 業績推移 (2003-2004は予想)



「浦佐店」の契約解除

土地オーナーの建物建築資金の調達が難航しており、隣地の売却など9月末を期限に事態の進展を待っておりましたが、状況の打開に至らず、残念ながら契約を解除することとなりました。

その他の出店計画

前期末の時点で成約の可能性が高い案件を3件挙げておりましたが、神奈川県内の計画については資金調達が不調に終わり白紙となりました。宮城県、山梨県内の計画については、建築費の見積り交渉と資金調達の最終段階を迎えております。

なお、これ以外にJR東日本開発から遊休地活用の打診があり、具体化を進めているところです。

小口不動産の証券化

日本資産証券化センターより、地域活性化のため当社の店舗について証券化の可能性を検討してみたいとの提案があり、「山中湖店」を対象に具体化に向けた検討を始めていただいています。すでに、数千万円程度の規模での証券化の実例もあるとのこと。課題は多いのですが、実現すれば、不動産に固定化されている資金を新規店舗の取得に活用することが可能になり、これを連続させることによって好立地に計画的に出店することが可能になります。また、その実績をもとに、オープン後の既存店のみならず、新規出店計画を対象とするスキームも不可能ではないようです。主体的に事業計画を推進するためにも、積極的に検討してみたいと考えております。

既存店の補修・改装・改築

リピーターの拡大による稼働率のアップを図るため、各店舗で以下の工事を実施する予定です。

- 「鬼怒川店」・・・ 腐食部分の補修、一部塗装、自転車置き場の新設、内外の清掃（9～10月実施済み）
- 「那須店」・・・ 浴室ユニットの交換、床壁の断熱性強化、支配人室・リネン室の拡張（今冬実施予定）
- 「秋田六郷店」・・・ 地下水ポンプ制御盤の交換（7月実施済み）
- 「山中湖店」「沼田店」・・・ 廊下通用口の雨（雪）除けの設置（年内実施予定）
- 「水戸大洗店」・・・ 排水処理施設の補修（9月実施済み）
- 「北上店」・・・ 廊下・階段雪除けサッシの設置（9月実施済み）

以上